

# 仲西連覇 堅守光る



女子決勝 仲西テラスホテルズ名護U-15 前半、仲西の大臣紗が10箇のシュートを決める。東風平体育館（金城拓樹撮影）

## 県中学ハンドボール

ハンドボールの第19回八重瀬町長杯争奪・第44回県中学秋季大会最終日は31日、八重瀬町東風平体育館で行われ、女子決勝は仲西が39-22でザ・テラスホテルズ名護U-15を破り連覇を飾った。男子決勝は琉球コラソンU-15が浦添を34-26で制して、初出場で頂点に立った。

【男子】	▽準決勝	琉球コラソンU-15	28-26	神 森
	浦 添	30-25	普 天 間	
	▽第3シード決定戦	神 森	25-15	普 天 間
	▽決勝	琉球コラソンU-15	34(18-13)	浦 添
【女子】	▽準決勝	ザ・テラスホテルズ名護U-15	23-19	東 風 平
	仲 西	25-21	神 森	
	▽第3シード決定戦	神 森	37-11	東 風 平
	▽決勝	仲 西	39(20-19)	ザ・テラスホテルズ名護U-15

## 運動量で主導権

昨年優勝時の主力が残る女子仲西は持ち味の堅守から速攻を展開。ザ・テラスホテルズ名護U-15を39-22で破って連覇を飾った。

仲村幸一監督が「他校に比べて上背がない分、運動量で守る」というチームは試合序盤から堅い守りを見せた。前に立つ2人がボール保持者にプレッシャーをかけてパスコースを限定。マークに苦しみながら出されたパスをカットして速攻につなげた。パスを通されても、2人で囲んでフリーにはさせなかった。

石川奈南と大田千紗が起点

になり、ポストプレーヤーにボールを入れながらパスを回す攻めも展開。ポジションを入れ替えながらフリーの選手をつくってシュートを放った。

前田愛梨主将は「決勝前日の練習から雰囲気は良くて、みんなから声を出して盛り上げることができた」と喜ぶ。石川は「得点は多いけど1対1で仕掛ける場面は修正が必要」と課題を挙げ、大田は「ロングシュートの判断が悪かった。全国で勝つためにより良くしたい」とさらなる成長を誓った。

(仲間勇哉)



女子優勝の仲西

## コラソンU15 初出場V 男子

男子は琉球コラソンU-15が初出場で初優勝。浦添との決勝では、後半に守備が機能して点差を広げると34-26で振り切った。

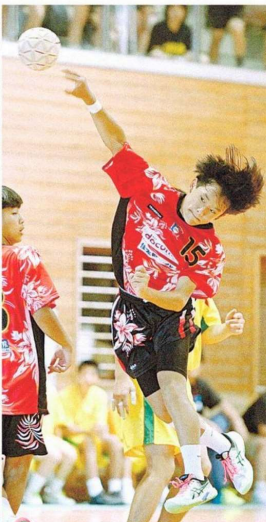
2点リードで迎えたハーフタイムでは守りのシステムを確認。「前から当たるとGKが止めやすいシュートを打たせよう」（古謝虎太郎主将）と共有すると、守備が機能して失点を抑える。前徳洗太や宮里叶一らの速攻から4連続得点で試合の主導権を握った。

その後ドリブルやステップで相手の守備陣を翻弄（ほんろう）。リードを広げて勝利をつかみ取った。

東江功子監督は「完成度はまだ低いですが、速攻など練習したことを出す姿勢は見られた」とねぎらった。チームトップタイの5得点を挙げた1年の村山由華は「もっと強引に仕掛けて、たくさん得点できる選手になりたい」と力を込めた。



男子を制した琉球コラソンU-15



男子決勝 コラソンU15-浦添 前半、コラソンの村山由華がシュートを放つ